（様式１－１）

学校番号	中学10	学校名	水海道第一高等学校附属中学校

令和6年度道徳教育全体計画

諸法規

教育基本法
学校教育法

学習指導要領

区市町村教育委員会の教育目標

校訓

至誠・剛健・快活

学校の教育目標

〇将来の自分に思いを致し、国際社会や科学技術の発展に対して積極的に関わろうとする生徒の育成
〇多様な他者と協働しながら、主体的に知力・体力・豊かな人間性を育むことができる生徒の育成
〇地域の歴史や実態を理解し、豊かな社会の実現と発展に貢献できる生徒の育成

生徒の実態

・純朴で素直な気質をもち温和である。
・将来の夢や希望をもっている生徒が多い。
・多くの友達と交流する生徒が多いが、自分から声をかけることを苦手としている生徒も少数いる。
・時間を守ることに対する意識の低さが課題である。

保護者の願い

・学習に喜びを感じ、積極的に生きてほしい。
・自他を大切にし、仲間と共に伸びてほしい。

道徳教育重点目標

主体性を尊び、心身共に健康で、社会や国家に貢献し得る有為な人材の育成に努める。

地域の実態

・本校への関心や期待度が高く、教育活動に協力的である。

各教科・科目

国語	・言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。
社会	・グローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を育成する。
数学	・数学的に考える資質・能力を育成する。
理科	・自然の事物・現象を科学的に探究する資質・能力を育成する。
音楽	・生活や社会の中の音や音楽、音楽文化に関わる資質・能力を育成する。
美術	・生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。
保健体育	・心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する。
技術家庭	・生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。
外国語	・外国語による言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

各学年ごとの指導の重点

1年

・助け合い励まし合う態度を養う。
・物事に積極的に参加する意欲を養う。
・自然と親しむ心情を養う。

2年

・生徒相互が理解し信頼し合う態度を養う。
・責任をもってやりぬく実践力を養う。
・自他の生命を大切にする心情を養う。

3年

・他に学ぶ謙虚な態度を養う。
・自ら進んで奉仕する実践力を養う。
・いたわり励まし合う人間愛の精神を培う。

特別活動

【学級活動】
学級や学校の生活上の課題を見出し自主的に取り上げ、協力して課題解決していく自発的・自治的な活動を通してよりよい人間関係の形成や生活づくりに参加する態度を養う。
【生徒会活動】
全校生徒がよりよい学校生活を築くために、異年齢の生徒同士で協力し、主体的に組織をつくり、役割分担や計画を立て、話合いで解決しようとする実践的な態度を養う。
【学校行事】
各学校行事に積極的に参加する意欲を養うとともに、様々な体験活動を通して、よりよい人間関係の形成や自立的態度を養う。

総合的な学習の時間

・探究的な見方、考え方を働かせ、教科横断的・総合的な学習を行うことで、自己の生き方を考えようとする態度を養う。
・探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、積極的に社会参画しようとする態度を養う。

道徳の時間の指導方針

・互いの考えを尊重し、伝え合い、人間としての生き方について、共に深く考え合う。
・学校の教育活動全体で行う道徳教育と内容、時期を関連付け、道徳性を育てる。
・年間指導計画に基づき、生徒の心身の発達や個に応じた適切な指導を行う。
・生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取り、認め励ます個人内評価を行う。
・保護者や地域に授業を公開し、意見を交換するなどして、地域と共に子どもを育てる。
・教材の整備や指導と評価方法の工夫に努め、より意義のある時間にする。

生徒指導

・規律やルールと時間を守ることの指導の徹底
・マナーアップ、ボランティア活動等による社会性と公徳心の育成
・思いやりの心とマナーの大切さを理解し、自己の判断で望ましい行動ができる生徒の育成

特色ある教育活動や体験活動

・海高クリエーティブスクール
・亀陵祭
・地域フィールドワーク
・イングリッシュスタディ
・探究意見交換会
・国内語学研修
・亀陵踏破会
・国内探究宿泊研修
・海外語学希望研修

学級・学校の環境の充実・整備

・教室内外の環境美化に努める。
（清掃活動の充実、掲示物の工夫・整備）
・施設・設備の安全と維持に努める。
（ものを大切に使う指導、安全点検と迅速な修理、植物の栽培と管理）
・図書館を充実し、読書活動や調べ学習を推進し、道徳教育に資する。

家庭・地域社会などとの連携

・高等学校との学習や生活の交流を深め、中高連携を進める。
・高等学校とのボランティア交流を進める。
・地域人材の開発や活用
・地域の関係諸機関と連携した社会性の育成